

広島県中小企業団体中央会 2022年11月分情報連絡員一覧票

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

11月の出荷量は前月比4.4%増加、前年同月比5.5%増加。売上高は前月比5.6%増加、前年同月比7.2%増加となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

原材料などの諸経費の値上がりが、収益を圧迫している。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

原綿相場は下がってきているが、販売状況が悪化し11月も売上等が前年対比減少傾向にある。加えて、電力・燃料コストの上昇により、今後の損益への影響が一層懸念される。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

令和4年10月の新設住宅着工戸数は76,590戸で前年同月比▲1.8%。貸家や分譲が増加を維持しているものの11ヵ月連続となる持家の減少幅が拡大したことから全体では3ヵ月ぶりの減少となった。

【広島県】

令和4年10月の新設着工戸数は1,665戸で、対前年同月比▲6.0%。3ヵ月連続の減少となった。資材の物価高が住宅価格を押し上げており、特に持家の新規受注が進んでいないとみられる。

また、今後住宅の省エネ性能、耐震性能向上などで住宅はさらに高価格化が進む要素もあり、円安の進行、電気代の高騰など周辺環境の変化も含め、引き続き今後の需給動向を注視していく必要がある。

●出版・印刷・関連

広島県印刷工業組合

材料費、電気代、運賃などの値上がりにより厳しい経営状態にさらされている。従業員に対して冬期賞与の上乗せなどを行いたい、現実には厳しい。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月同様、原材料等の価格高騰による収益性の悪化が深刻であり、業界の景況感は悪化している。また、得意先からサイバーセキュリティ対策を求められてきている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・原材料や電気代等の高騰が予想以上であり、製品単価への転嫁の難しさに危惧している。また、諸材料の高騰が事業採算を大きく圧迫している。
- ・自動車関連は、半導体不足による生産減が発生し、まだまだ不透明感が強い。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- ・出荷状況

令和4年11月 2.996 m³ (対前年比 104%)

令和4年10月 2.987 m³

令和3年11月 2.880 m³

- ・令和4年度想定数量

780.000 m³

(鉄鋼・金属製品)

●金属製品

広島金属工業協同組合

- ・業界動向は基本高位安定。部品調達状況も改善が見られ増産をかけている
- ・各社で波高性はあるが平均で対前月比+18%の生産実績。対前年同月比でも+15%
- ・主要取引先の部品調達不安による生産下振れが、今後想定されるリスクと言える

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

材料費、燃料費、電気料金の高騰が高止まりの状態にある。今後も更に物価の上昇が懸念される。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

スポット受注や出荷時期の変更が主な要因となり、11月度の売上は前月比20%増加、前年同月比は10%増加となった。また、日工会の11月24日発表の10月工作機械受注実績は前年同月比5.6%減の1410億6200万円と2ヶ月連続の減少となったが、2ヶ月連続の1400億円超。今後も、自動化や工程短縮、環境規制対応の需要が見込め、一時的な調整はあっても大崩れはない見込みである。

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

新規受注はやや鈍化しているものの、増加していた受注残により、3月までは高稼働が続く見込であり、売上は前月比10%増加、前年同月比10%増加となった。また、半導体関連の部品仕入は改善している。一方で、電気料金の高騰が利益を圧迫しており、価格転嫁に向けた交渉が避けて通れない状態にある。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

コロナによるロックダウンや半導体の供給問題は改善されつつあり、未だ一部の車種では上下があり不安な生産であるが、マツダの生産は全体的には正常な水準に戻りつつある。

11月度自動車国内販売台数は377千台、前年同月比+7.0%と3ヶ月連続で増加。マツダ車に関しては、10.8%増と6ヶ月連続で増加となった。また、マツダ車の10月の海外販売台数は77千台、前年同月比+2.9%と15ヶ月振りに増加。輸出台数は、前年比+54.1%と4ヶ月連続で増加。国内生産台数は、前年同月比▲6.0%となった。

八本松工業団地協同組合

自動車関連の生産数の減少により、金型や設備関係の仕事量が大幅に減少することが予想される。

●輸送用機械器具(造船)

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

中国地区造船協議会

県内、2500総トン以上の令和4年10月の船舶建造許可実績は4隻、94,670総トンであった。(前月3隻212,200総トン。前年同月0隻)なお、内訳は輸出船が4隻で、貨物船であった。

(卸売業)

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

足許の営業活動では、各種値上げに伴う駆け込み需要や、人流が戻りつつある飲食業やサービス業向けの需要増など、景況感に上向きが見られる業種・事業者がいる一方で、建材高騰による住宅販売減少、これに伴う家具販売減少等も見られ、売上回復の歩みは全般的に鈍い。

●卸売業(電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

商品価格改定による価格高騰で販売価格は上昇しているが、利益面でダウンしており価格転嫁の課題がある。また、品不足面は徐々に回復傾向にある。

●卸売業(畳・敷物)

広島県畳製品商業協同組合

- ・びんご特選の取扱いは、前年同月比66.3%となったが、JAS畳表は前年対比129.5%と持ち直した。
- ・年末にむけて訪問営業なども行うため、今後取扱いが増加することを期待している。

●卸売業(家具)

リビズ株式会社

コストアップにより、商品の値上げを実施している。

(小売業)

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・11月度中央市場水産部の取扱高は、ほぼ前年並みだが、値上げを実施したことが要因であり、物量は引き続き低水準。青果部は温暖な気候により青果物が前倒しで出荷され、特に葉物野菜は相場が低くなっており、今後の入荷が不安視される。引き続き、小売・外食向けの販売低迷が続く一方で、宿泊業向けの販売は全国旅行支援事業の効果から急回復している。
- ・魚価や食品の価格上昇に加え、資材や輸送コストの上昇分の価格転嫁が加わり、従業員の処遇改善の余裕がない事業者が多い。慢性的な人手不足、家賃等の資金繰りに補助金の打ち切り、コロナ対策資金の返済が重なり、事業継続に苦心している事業者も出てきている。
- ・12月は忘年会シーズンだが、相変わらず企業関係の大人数の宴会は少なく、外食向けの販売回復が見込めない状況である。

協同組合三次ショッピングセンター

電気料金と水道料金の値上りによって利益が減少しており、当面良くなる見込みはないと考えられる。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和4年11月度販売実績 101% (前年同月比) AV商品95%、白物商品129%、薄型テレビ91% (内有機EL90%)、DVD76%、冷蔵庫120%、洗濯機114%、IHクッキングヒーター109%、エコキュート288%、エアコン109%、炊飯器118%、電子レンジ128%、掃除機153%
依然慢性的品不足は続いているが、白物中心に販売は好調。一方で映像商品は苦戦している。

(商店街)

●商店街 (各種商品小売業)

呉本通商店街振興組合

- ・11月22日に呉市の起業家支援プロジェクト(ビジネスプランコンテスト)の最終審査会が行われ、3件が採択された。事業化に必要な資金は来年1月からの呉市による「ふるさと納税型クラウドファンディング」により集める予定である。
- ・来年開催される、呉市主催の第4回リノベーションスクール@呉の講師に当組合理事が参加することになった。

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲12.6%、前年同月比1.2%増加
- ・車検場収入は、前月比▲10.3%、前年同月比3.8%増加
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲12.5%、前年同月比▲0.9%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

年末に向けて、若干ではあるが稼働した。年末に向けさらなる稼働上昇に期待したいが、受注見込みは少ない。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

電子部品の入手難は少しずつ解消しているが、一部困難なものもある。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、11月度は前月比+73.9%、前年同月比+60.7%、前年累計各対比+0.9%と久しぶりに好転した。好調が11月のみか継続するのか見通しの立たない状況である。

福山地区電気工事業協同組合

- ・11月分の受注件数は、339件 (前年同月比67%) と前年と比較して大幅に減少。
- ・コロナやウクライナ情勢等の影響によって物流が停滞しており、部材の入荷が遅れるなどの問題が生じている。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・ 11月の売上高は前月比では減少、前年同月比は増加。
- ・ 軽油価格は、原油価格が値下がりしたため、小幅な値下げとなった。
- ・ 同業者の倒産件数が増加していると感じる。燃料価格の高騰は業界全体に深刻な影響を与えている。

松永地区トラック事業協同組合

- ・ 11月の売上高は、対前月比では大きな変化がなく、対前年同月比では増加となった。
- ・ 燃料価格は依然として高止まりしており、収益をかなり圧迫している。トラック運送業界は鉄道、バス、タクシーなどのように運輸支局に届出すれば運賃を値上げすることが出来るのではなく、個々の会社が荷主との交渉により値上げが決定するので、ほとんどの運送会社は運賃値上げが実現出来ていないのが現状。電気、ガス、食品などすべての物が値上げラッシュになっているが、トラック輸送の運賃は上がっていない。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・ 船員の高齢化が進み船員不足の状態が続いており、若年船員が育っていない
 - ・ 運賃や用船料の改善がみられない
- (その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・ 来年3月頃まで国土交通省の地価公示作業、相続税の路線価標準宅地評価作業、市町の3年毎の固定資産税標準宅地評価業務があり、当面一般評価作業と併せて忙しくなる。
- ・ 不動産市場については、事業所用地・建売建築素地不足による業者の土地仕入価格の上昇が続いている。マンション販売については、新築販売がやや鈍化している。中古マンションについては依然として販売価格が高値で推移している。